

第1回ユース・シチズン・アントレプレナーシップ・コンペティション入賞者



ベストアイデア部門



最優秀賞

仮想通貨ドージコインを使った少額融資

Microlending with Dogecoin

プラモッド・エムジェイ

(24歳/男性/インド)

柴犬をモチーフにした
ドージコイン

ソチ冬季五輪でジャマイカのボブスレーチームの支援や、アフリカの井戸堀の支援などに実際に使われた仮想通貨(デジタル通貨ともいう)のドージコインを使って、社会起業家に小口の融資で支援をするというアイデア。手数料がかからず、世界中にすぐ送金できる仮想通貨の特性を活かして寄付金を集め、既存の通貨に換金して融資する。運営は全てボランティアによって行われ、返済された資金を別の活動に融資して支援を続けていく。

ドージコインのコミュニティでは、今までに1,500万円を超える寄付で様々なプロジェクトを支援してきた実績があることからこのアイデアを提案。



ベストプロジェクト部門



最優秀賞

ファミリー・ピパー — 平和を求めて

Familia Pipa-In Search of Peace

ブルーノ・ロッシ・ダコスタ (22歳/男性/ブラジル)

16歳でこのプロジェクトを立ち上げて以来、大勢の仲間と社会を良くするための様々な活動を展開。45,000人以上の貧しい人たちに食料をはじめ、リサイクリング・プロジェクトで再生した衣料品や本、家具、電子機器などを20万回にわたって寄贈。



子どもたちとのプロジェクトにて。
一番右が創設者のダコスタ氏。

環境問題にも取り組み、植林のほか、川や湖、森などから3トン以上のごみを回収し、環境保護のキャンペーンを行う。

他に、演劇を通して子どもやお年寄りに楽しみながら意識啓発を行ったり、低所得者の家の増改築も行う。

今後は、ホームレスや薬物中毒者の更生のための共同体をつくることを計画している。



2位

B-Note (視覚障害者のためのスマートフォン)

フッサム・エルディーン・ハッサン
(28歳/男性/スーダン)

視覚障害者のために表示画面を点字にした携帯機器。デジタル書籍が点字で読めて、メモ機能もあり、GPSの位置情報で現在地をサポート。超音波機能を使って、白杖の代わりに周囲の状況を感じして知らせてくれる。

通常のスマートフォンのような通話や音楽再生、アラーム機能なども搭載する。読書や勉強を諦めていた視覚障害者に教育の機会が与えられ、日常生活を楽しむことができる。



B-Noteの完成イメージ



3位

子どもたちの庭 *Garden of Children*

ルーカス・ブレンドラー
(高校生/男性/ドイツ)

人格をつくる上で大切な時期とされる2歳から6歳までの子どもを対象にする幼稚園。環境や資源の問題など、地球の課題を解決するには、個人の潜在能力を最大限に発揮することが必要で、そのためには幼少期の教育が最も重要と考え、多言語の習得、論理的な考え方や創造性、互いを尊重し合えるような社会性などを養えるようなカリキュラムにする。

音楽教師による授業などの教育を提供しつつ、授業料は助成金や企業からの支援を利用して公立の機関と同額程度に抑える。



ピープルズ・チョイス賞

お年寄りのためのシッター *Nannies for Grannies*

ミッシュ・ディヴ
(男性/マレーシア・アメリカ)

糖尿病で透析が欠かせない父親を世話した経験から、専門的な看護以外に、病院への送迎や、家族が仕事や出張で家を留守にする際のケア、話し相手になるなど、日常生活上には様々なニーズがあると考えて企画。

ウェブ上に世話を頼みたい家族と、学生や職を求める人をつなげる場をつくり、介護が必要な人たちへの手助けと同時に雇用の促進も目指す。



2位&ピープルズ・チョイス賞

戦士ヨダスーがんととの戦い *Yoddhas - The Warriors Fight Against Cancer*

ラフル・ヤダヴ(29歳/男性/インド)

がん患者同士が、治療などの情報交換ができ、互いに助け合えるような掲示板をインターネット上に作成。

創設者自身が昨年、不治の病である多発性骨髄腫と診断され、情報を求めて病院やインターネットを探し回った結果、同じがん患者同士のサポートが最も役立つことがわかり、このプロジェクトを立ち上げる。また、若者への骨髄のドナー登録を呼びかける活動も行っている。

自身を含め、他のがん患者にも戦士のように戦ってほしいという思いから、ヒンドゥー語で戦士という意味の“ヨダス”を団体名にする。



2位

プロジェクト・ハーブ *Proyecto Ja'ab*

ホワン・セッラ・モンタグ
(27歳/男性/メキシコ)

若者たちの手で独創的で魅力ある本を共同で制作することで、若者にもっと本を読んでもらい、政治や芸術、社会性、市民としての意識啓発などを促すプロジェクト。かつてマヤ文明が栄えたメキシコ、ホンジュラス、エルサルバドル、ベリーズ、グアテマラのマヤ地域で展開中。

本の制作では、それぞれの地域の特性や文化的要素を尊重することで、伝統的な知識や地域の誇りを強化する。

校正やデザインなどの技術面、芸術面や、読書を推進するワークショップなどは地域の大学から協力を得て行っている。起業から1年半の間で、5カ国から350名の若者が参加して12冊の本を制作。今後は大学や公立図書館に寄贈していく予定。

本の共同編集のモデルケースとして、カリブ地区などにも広げくことも目指す。



3位

グリーンティックス *Greenetics S.A.*

マルコ・リバデネイラ
(26歳/男性/エクアドル)

無料のソフトウェアで開発したツールを使って、旧型のコンピューターが性能を維持したまま使用年数を延ばせるようにしたり、省エネタイプの部品と交換し、消費電力を抑えたコンピューターなどを教育機関に提供するプロジェクト。

大量に破棄される電子機器廃棄物を減らし、環境保護にも貢献できると同時に、教育の現場では環境保護の意識も育むことができる。

